

きゅうがめら！ TOKKO PRIDE! TOKKO BRAND!

徳之島高校通信

令和6年度
1・2月号
216号

～徳之島高校から「きゅうがめら！（こんにちは）」～

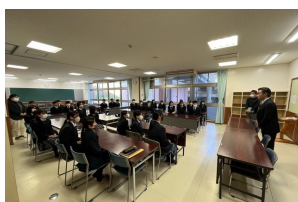
青い海・緑豊かな大地・赤く輝く太陽の下、イキイキと輝く徳高生の姿をPICKUPしました。

大学入試本番を迎える

年が明け、大学入試も本番を迎える時期になり、1月18日、19日には奄美大島の大島高校で大学入学共通テストが行われました。

慣れない場所での受験のため、緊張した様子が見受けられましたが、大きなトラブルもなく無事に受験を終えることができました。まずは、大きな試験を終え、生徒たちは充実感に満ちあふれた表情をしていました。

その後は、2次試験対策等に向けて、日々切磋琢磨しながら学習に取り組んでいました。



↑出発式にて校長より激励の言葉

この受験勉強をととして、勉強の楽しさを見つけたり、精神的にも強くなったりと、一回りも二回りも成長できたようです。

この経験を糧に、新天地でも頑張ってください。



↑出発直前、亀徳新港にて



↑受験会場（大島高校）にて

第18回 徳之島高校長距離走大会

2月7日（金）に長距離走大会を実施しました。

当日は太陽が顔を出さず、寒さが厳しい日となりましたが、スタート前の生徒たちからは熱い気迫を感じました。途中で体力や気力が切れかける生徒もいましたが、声援が背中を押し、全員が無事にゴールテープをきることができました。自己の記録や苦しさに打ち勝ち、走りきったことで、一段と大きく成長できたはずです。この経験をいかし、今後、様々な場所で飛躍してくれることを期待しています。

また、当日は多くの保護者や地域住民の方々の温かいご声援ありがとうございました。

ハンセン病問題啓発講演会

毎年、多くの方に来校していただき、講演会を実施していただいている本校ですが、1月28日（火）には、ハンセン病問題啓発講演会を実施し、ハンセン病問題について考え、差別や偏見のない地域社会について考える機会をいただきました。

今回の講演会には、ハンセン病家族訴訟原告団「あじさいの会」【会長代行】赤塚 興一氏にお越しいただきました。ハンセン病が長年、当事者やその家族までもを苦しめ、差別されていたという話を聞き、生徒たちも「ハンセン病」という名前は知っていながらも、詳しく知らない生徒も見られ、病気だけでは無く、差別等についても考え直す良い機会となりました。

憶測だけで物事を判断することなく、しっかりと理解を深めることを大切にしながら、これから先、差別のない世の中をつくるために、一人一人が思いやりを心に生きていきましょう。



【男子】

1位：1年 櫻木 楓 (30:06)
2位：1年 久保 友希 (31:05)
3位：1年 崎島 虎真 (31:48)



【女子】

1位：1年 豊村 美友 新記録 (18:46)
2位：1年 名城 空希 (20:45)
3位：2年 内 麻里菜 (20:58)

校長雑談 ～徳高プライド～ Vol.10 ジェンガの危うさ

どことどこ・・・？

「テレビのリモコンがどこに行ったかわからない」・・・みなさん、そんな経験はありませんか？

テレビをはじめ、近頃の家電製品は、その多くが本体での操作は最小限で、多くの機能をリモコンで操作するようになっていきます。ただ、リモコンで何でも操作できるのはすごく便利なのですが、一方でテレビ本体で操作できるのが、電源・チャンネル・音量ぐらい...それ以外のほとんどの操作はリモコンがないと手も足も出なくなってしまいます。

もっと強烈なのは「エアコン」で、エアコンはリモコンがないと電源すら入れられず、本当に「何もできない」に等しい感じです。

そして、テレビやエアコンの本体はまだ十分使えるのに、先にリモコンが故障する...そんな感じになることも少なくないように感じます。

「リモコンがどこに行ったかわからない」といっても、おそらくその部屋のどこかにはあります。



だから、「本体に“リモコンサーチ”みたいなボタンがあって、本体のボタンを押すと、リモコンから“ピンポン♪”と音が鳴るような機能はつけられないかな」と願っているのですが、あまり不便を感じている人がいないのか、もう数十年、実現する様子はありません。（スマホがどこに行ったか分からなくなって、家族や友達に頼んで自分のスマホに電話をかけてもらって、音や振動を頼りに探す...これはみんな結構やってると思うんですが）

とにかく、リモコンの技術が発達して、すごく便

3月の行事予定表

3日（月）	卒業式
5日（水）	生徒自宅学習（～12日）
13日（木）	大阪万博出展企業による出前授業（1年生）
17日（月）	45×6限授業、生徒指導朝礼

利になった反面、その技術に依存しすぎて、そのバランスが崩れた途端、前以上にとんでもなく不便なことになる。

こんな風に、新しい技術が普及するのと同時に、これまでの技術が淘汰されていく（何でもリモコンで操作できるようになって、本体では何もできなくなっていく）。こういう現象があっちこちで起きているように感じます。

利便性だけでは・・・

もちろん、家電の場合ならコストを無視すれば、本体にボタンをたくさんつけてリモコン並みの操作が本体でもできるようにしようと思えばできるはずですが、そういった技術的な問題ではなく、新しい技術が開発され、便利になった瞬間にこれまでのやり方を「不要」と判断して何もかも捨ててしまおう...携帯電話やスマホが普及して、電話番号を紙に書いて記録する必要がなくなり、手帳タイプのアドレス帳を見かけることはもうほとんどありません。この場合も、スマホが故障したら、家族や友人への連絡もできなくなってしまいます。

家電製品のリモコンやスマホのアドレス機能などのように、私たちの生活が非常に便利になると同時に、それが使えなくなると突如としてもものすごく不便になる...私たちの生活はそんな脆弱な基盤の上に成り立っている...そんな気がしています。

例えるなら、下の方からピース（これまでの技術）を一本ずつ引き抜いては、それ（新しい技術）を上へ上へと積み上げていく「ジェンガ」のようです。ジェンガのタワーが高くなればなるほど（私たちの暮らしが便利になればな



裏面へ続く

裏面では、生徒が校内外で1年間取り組んできた、様々な活動を紹介しています。

るほど）、基礎の部分はスカスカで不安定になり、バランスが少しでも崩れるとあっという間にすべてが崩れ去る。私たちは、そんな危うい世の中を生きている…そんな気さえしてきます。



不便の中にも・・・

スマホをポチッとすれば、大概の物は数日後には玄関先に届きますし、「A I家電」も少しずつ増えてきて、何でもかんでもスマホで操作する方向に

移っていく様子。便利になるのはいいことでしょうが、スマホが突然故障したら玄関のドアさえ開けられない事になりかねない…昭和世代の私は正直「怖い」と感じます。

便利さばかりを追いかけるのではなく、時にはちょっと不便でも、もし何かが急に使えなくなっても大丈夫な生活を考えてみていいのかもしれない。

不便さは知恵の源…その価値を大切にしたいものです。（画像については、AIでの生成、もしくはフリー素材）



生徒探究活動発表会

2月20日（木）に生徒探究活動発表会が徳之島町文化会館にて実施されました。

2年生の代表6班がこれまでの総合的な探究の時間（ホエールタイム）で取り組んだことを発表し、ホールの方では、発表班以外の1・2年生が取り組んだ内容のポスターも掲示されました。

発表では、課題設定から解決に向けての取り組みや今後の展望などがしっかりとまとめられていて、一年間の成果を感じとることができました。

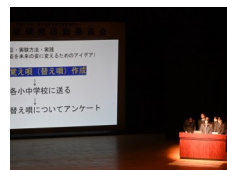
また、最後に、【鹿児島大学 法文学部 法経社会学科 准教授 農中 至 先生】【伊仙町歴史民俗資料館 町誌編纂室 室長 松岡 由紀 先生】のお二方より、探究活動の在り方や、発表者に向けての指導助言等をいただきました。

この経験をこれからの私生活にもいかすために、常に問いをもち、答えを探しながら過ごしてほしいものです。

また、発表会には亀津中学校の2年生や関係機関の方々、多くの保護者にも参加してくださいました。ありがとうございました。

私達の替え唄で 徳之島の島口を救う

島口の衰退を懸念して探究活動をすすめた。現状を知るためにアンケートを実施したり、替え歌を作るなどして取り組んだ。



徳之島の医療課題の 解決に向けて

離島特有の医療現場の課題があるのでないかと考え、病院等でアンケートを行った。多くの課題を見つづけることができた。



とくのしまKitchen ～徳之島の魅力を知る 自然体験学習を企画しよう～

徳之島の魅力を探るために、自ら自然体験型のイベントを企画を行った。今後はイベントに加え、郷土料理の魅力も伝えていく。



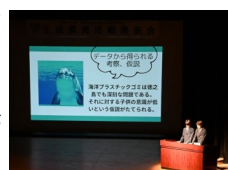
徳之島の犬や猫を 〈家族〉という意識に

徳之島で飼われている犬や猫の扱い方に疑問をもち、リサーチ等を行った。周知するために、ポスター等の作成も行ってきた。



海洋プラスチックゴミ から明るい世界へ

毎日流れ着く膨大な海洋ゴミについて調べ、そこから何かできなかと考え、イベントを企画したり、商品開発を行った。



留学・インターンシップ・交流事業等報告会

本校では、「総合的な探究の時間」に力を入れて取り組んでいるところですが、それ以外にも外部と連携をはかりながら様々な交流を行っています。

そこで、この1年で実施された取り組みの報告会が2月25日（火）に実施され、活動内容について発表が行われました。「徳之島高校」だからできる事業もあり、この外部との連携は年々広がりを見せています。

今回の発表を聞いて、興味・関心をもった生徒は、次はぜひ活動に参加して、様々な人や文化と交流をしてもらいたいです。

徳之島町海外語学留学

参加者：2年 金子 大耕・頂 亮成
1年 作城那奈子

期間：7月20日（土）～8月5日（月）

徳之島町の協力の下、アメリカのニューヨークでの語学研修等を行いました。

異国の文化の違いや交流等を通して、日本では得ることの出来ない希有な体験は、これからの人生に大きな影響を与えたようです。

2つの世界自然遺産「奄美・屋久島」 自然体験型交流学习事業

参加者：2年 明和 愛音

期間：7月24日（水）～7月31日（水）

世界自然遺産である屋久島、奄美大島、徳之島を一週間かけて巡り、自然に触れながら環境保護等について研修を行いました。

それぞれの自然に触れることで、徳之島の魅力も再発見できたようです。

アカデミック・インターンシップ

参加者：2年 太 捺貴・赤崎 歌南
政田 みなみ

期間：8月20日（火）～8月22日（木）

県の推進事業で、鹿児島大学、第一幼児短期大学へのインターンシップに参加しました。

この経験で新たな視点に気づき、また、将来の進路を考えるきっかけになったようです。



離島百貨店での徳之島フェア

参加者：3年 富本 哲史
2年 太 捺貴・森 太陽

期間：7月21日（日）～7月28日（日）

東京の「離島百貨店」というお店で、21日から徳之島Weekを設定しました。28日には、徳之島高校Dayとして、本校の生徒が販売の手伝いを行い、接客や商品を通じて徳之島の魅力をたくさん伝えてくれました。

徳之島町インターンシップ

参加者：1年 町田 心・永岡 結
永喜 莉亜

期間：7月29日（月）～8月2日（金）

徳之島町主催で、インターンシップ教育事業として開催されました。企業等にお伺いして、仕事等について学ぶ機会を得ました。

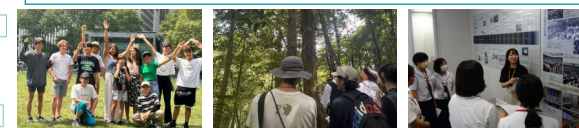
普段立ち入ることの出来ない場所での研修は、将来働くことへの意欲に繋がったようです。

高校生アイランダーサミット

参加者：2年 森 太陽

期日：1月26日（日）10時00分～16時00分

今回3回目となるイベントの実行委員として参加しました。北は北海道の奥尻島から、南は沖縄の石垣島まで、全国の離島の高校生がオンラインで集まり、それぞれの課題を見つづたり、魅力を発信したりしました。



鹿児島県立徳之島高等学校

〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津784番地 Tel 0997(82)1850 Fax 0997(82)1851

<http://www.edu.pref.kaogoshima.jp/sh/Tokunoshima/>

